

# 第2回研究会

日時 : 平成13年7月28日 (土) 13:30~17:00  
会場 : 関西大学 学術フロンティアセンター 3階共同実験室 (会議室)  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Guide-j/mapsenri.html>の  
21番の建物. 4学舎1号館のすぐ隣です.

## プログラム

### 1. 講演

- (1) 蒸気タービン用超大径軸受の開発

和歌山工業高等専門学校 谷口 邁 氏

資料 : タービン用超大径軸受の開発 (論文概要, 論文)

発電タービンに使われている超大径ティルティングパッド軸受 (4パッド、2パッドなど) を対象とし、THD理論を用いた温度解析結果、また、解析値と実験値の比較結果に関して詳細に報告.

- (2) 油潤滑スパイラル溝ジャーナル軸受の作動特性に関する基礎的研究

龍谷大学 平山 朋子 氏

資料 : スパイラル溝小型軸受の作動特性に関する研究 (第1報)  
(精密工学会誌 Vol.66-7, pp.1064-1069)

A Study On Operating Characteristics Of Spiral Grooved Journal Bearing  
(Proc. of the ITC 2000)

スパイラル溝小型ジャーナル軸受の作動特性に関する基礎的研究 (第4報)  
(日本トライボロジー学会 2001 春 講演予稿集)

HDD スピンドル用油潤滑スパイラル溝付軸受を対象とし、キャビテーションの影響、油漏れ特性、温度特性に関し、それぞれ実験結果と解析結果の比較を中心に報告.

- (3) 能動型可変絞り油静圧スラスト軸受に関する研究

東京理科大学 吉本 成香 氏

資料 : 能動型可変絞り油静圧スラスト軸受に関する研究

油静圧スラスト軸受を対象とし、能動絞り制御方式を採用したものを提案、報告.

制御を介して軸受すきまをナノオーダーで変化させることによって優れた静剛性，動剛性が得られ，またその結果は解析結果と一致する旨を詳細に報告．

## 2. その他